

# 3Dサラウンドオーディオプロセッサ NJM2701/NJM2702のサンプル配布開始

## 自社開発のサラウンド技術で自然な音の広がりと良好なセンタ定位を実現

今回新日本無線では、自社開発の2スピーカサラウンド技術を使った3Dサラウンドオーディオプロセッサ、NJM2701/2702の開発を完了しサンプル配布を可能としました。

今回開発したサラウンド技術は、従来の2スピーカサラウンド技術で言われている“音の広がりはあるが、音の定位がぼやける、ボーカルが散ってしまう”という点に着目し、以下のような手法で“自然な音の広がりと良好なセンタ定位”を実現しました。

### [ステレオ入力]

ボーカルなどの人間の耳に敏感な周波数と敏感でない周波数を検出し、そのレベルに応じたフィルタ処理を行い、敏感でない周波数にサラウンド効果を加え原音に加算する。

### [モノラル入力]

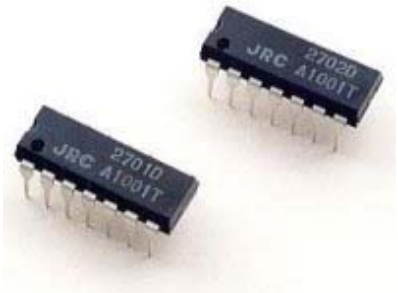
音の定位を残す為、人間の耳の方向感が敏感な周波数と敏感でない周波数をフィルタで分離し、方向感が敏感でない周波数にサラウンド効果を加える。

NJM2701は、ステレオ/モノラル/入カスルーの入力モード、NJM2702は、ステレオ/入カスルーの入力モードを持ち、さらにサラウンドON/OFF時の音量差が少ない、狭いスピーカ間隔でもサラウンド効果が大きいなどの特徴を持っており、TV/ミニコンポ/ラジカセ/スピーカシステムなどのオーディオ機器に最適です。

(2001年4月25日)

### <開発製品一覧>

製品名	機能	応用	外形
NJM2701	3Dサラウンドオーディオプロセッサ ステレオモード、モノラルモード、 入カスルーモード	TV、ミニコンポ、ラジカセ、 スピーカシステムなど	DIP/DMP14
NJM2702	3Dサラウンドオーディオプロセッサ ステレオモード、入カスルーモード		DIP/DMP14 SSOP10



<製品の機能および特徴の概要>

- ・動作電圧範囲 4.7～13V
- ・ステレオモード ステレオ音声から3Dサラウンドを再現
- ・センター定位を重視した自然な立体音場
- ・サラウンドON/OFF時の音量差が少ない
- ・狭いスピーカ間隔でも効果大
- ・モノラルモード(NJM2701のみ) モノラル音声から擬似ステレオを再現
- ・3D効果可変ボリュームによる音場調整(ステレオモードのみ)
- ・モード切り替えスイッチ内蔵
- ・バイポーラ構造
- ・外形 DIP14,DMP14 NJM2701/2702  
SSOP10 NJM2702

<生産予定/サンプル価格>

弊社では、NJM2701/2702のサンプル配布を2001年5月より、量産を2001年7月より開始し、生産は月産30万個で立ち上げる予定です。なお、サンプル価格は@¥150です。